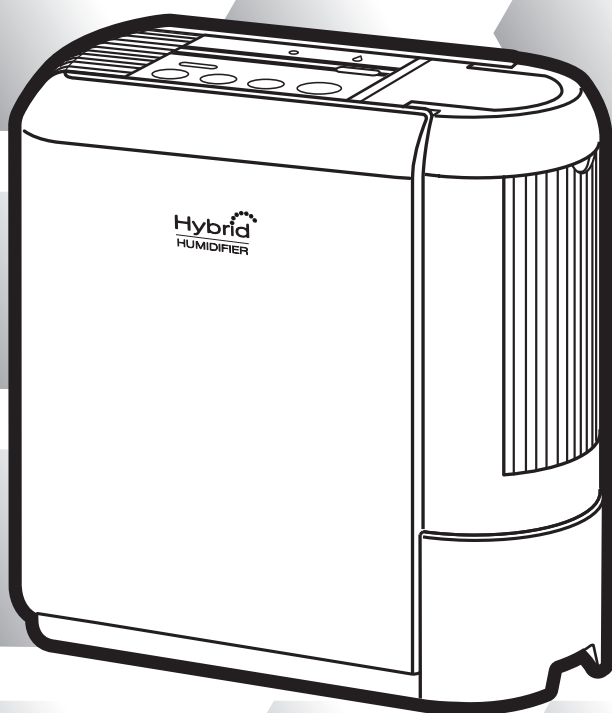
ハイブリッド式加湿器（家庭用）

［温風気化/気化式］

HD-3003

取扱説明書

＜保証書付＞裏表紙に付いています

目　次

ご使用前

安全のために必ずお守りください……… 1
特長…………………………………………… 4
各部のなまえ……………………………… 5
使用する場所・使用前の準備…………… 7

使用方法

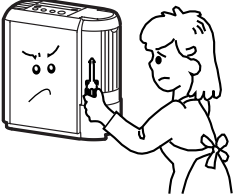
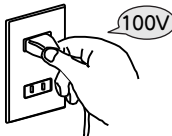
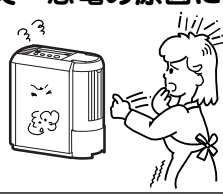
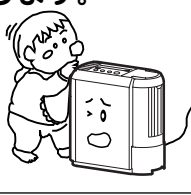
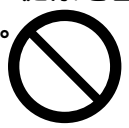
運転開始のしかた………………………… 9
運転停止のしかた・チャイルドロックのしかた… 10
運転切換のしかた・湿度設定のしかた… 11
切タイマー運転のしかた………………… 12

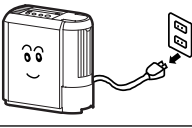
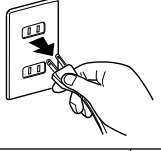
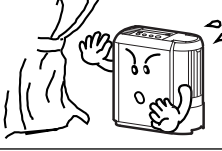
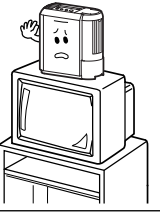
点検・その他

お手入れのしかた………………………… 13
故障かな？と思ったら…………………… 15
消耗品の交換について…………………… 16
保管と廃棄のしかた……………………… 16
保証とアフターサービス………………… 17
定期点検のおすすめ……………………… 18
仕様………………………………………… 18
部品のご注文について…………………… 18

保証書………………………………… 裏表紙

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめください。

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の2段階に区分しています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠警告(WARNING)

分解・修理・改造の禁止
お客様自身による分解・修理・改造は絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。

水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。

AC100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する
AC100V以外、または他の機器と併用すると火災・感電の原因になります。

本体に異物を入れない
吹出口や吸気グリルにピンや針金などの異物を入れないでください。
感電やけがの原因になります。

異常時(水漏れ、コゲくさい臭いなど)は運転を停止して電源プラグを抜く
異常のまま使用を続けると火災・感電の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・けが・感電の原因になります。

運転停止直後(約1分間)は、ヒータ周辺に触れない
やけど・けが・感電の原因になります。

本体のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使わない
有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

お手入れする際は、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

⚠警告(WARNING)

電源プラグのお手入れをする
ときどき電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
電源プラグは根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電やけがの原因になります。

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、重いものをのせたり、束ねたり、曲げたまま使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
けがやけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
火災・感電の原因になります。

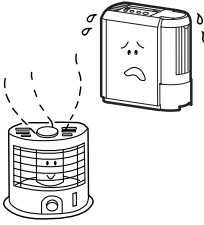
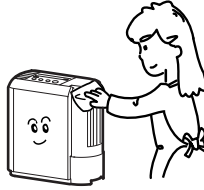
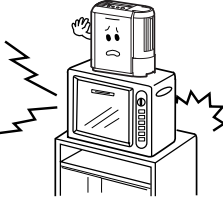
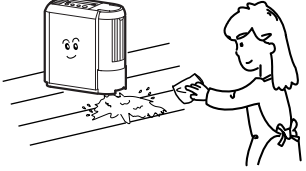
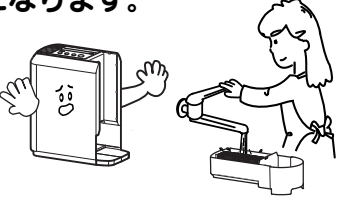
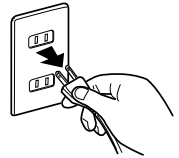
加湿された風が家具・壁・カーテンなどに直接あたるところには置かない
しみが付いたり、変形するおそれがあります。

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れする
お手入れせずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し健康を損なう原因になります。

暖房機・テレビなどの電化製品の上に置かない
転倒すると水がこぼれ、火災・感電の原因になります。

水道水以外は使用しない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤(アロマオイルなど)・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用するとカビや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形や故障の原因になります。

不安定な場所に置いたり、傾けて使用しない
水がこぼれ、火災・感電の原因になります。

吸気グリル・除菌フィルターを外したまま使用しない
性能が発揮されず、故障の原因になります。

安全のために必ずお守りください

お願い(NOTICE)

吹出口や吸気グリルをふさがない
吹出口や吸気グリルをふさぐと変形や故障の原因になります。

直射日光のあたるところや暖房器具の上や近くに置かない
タンク内の空気が膨張し、水があふれたり、プラスチック部分が変形・変質するおそれがあります。

こまめにお手入れする
お手入れせずに使用を続けると、本体内部に水アカなどが付着してとれにくくなり、誤動作や故障の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなど磁気の多いところには置かない
正常に作動しないときがあります。

製品下部や床を時々清掃する
水がこぼれたまま放置すると、床を腐食させるおそれがあります。

本体内部には直接水を入れない
トレイに直接水を入れたりしないでください。故障の原因になります。

使用しないときは水を捨てる
長期間使用しないときは、タンク・トレイ内の水を捨ててください。水を入れたまま放置すると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる
凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

タンクを入れたまま移動しない
移動するときは、必ずタンクを取り出し、両手で取っ手を持って、傾けないように静かに運んでください。水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

湿度の高いところ（85%以上）では使用しない
故障の原因になります。

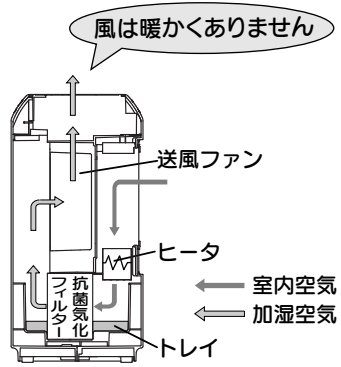
トレイ内の水を飲まない・飲ませない
体調不良の原因になります。

抗菌気化フィルターを外したまま使用しない
故障の原因になります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く
長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。

特長

1 ハイブリッド式（温風気化/気化式）

ハイブリッド式は、水を含んだ抗菌気化フィルターに風をあてて加湿する「気化式」と、温風をあてて加湿する「温風気化式」を組み合わせた方式です。
湿度が低いときは、「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に近づくと温風を使わない「気化式」に切り換え加湿量を調整します。
「温風気化式」でも、温風は抗菌気化フィルターで水が気化するときには熱が奪われるので、吹出口より吹き出す風は、暖かくありません。

2 静音設計

運転音を抑えていますので、就寝時にも快適にご使用いただけます。

3 お好みに合わせて選べる運転モード

①標　準：お好みの湿度設定に合わせて加湿したいときにおすすめします。
②省電力：消費電力を抑えて加湿したいときにおすすめします。
③静　音：運転音を抑えて加湿したいときにおすすめします。
④急　速：すばやく設定湿度にしたいときにおすすめします。

4 湿度センサーによる自動運転

お部屋の湿度を素早く感知し、湿度に合わせて自動的に加湿量を調節します。

5 トリプル除菌機能搭載

①抗菌・消臭シートがトレイ内のカビ・雑菌の繁殖を抑え、きれいな水でお部屋を加湿します。
②除菌フィルターがお部屋の空気から捕らえた雑菌の繁殖や活動を抑えます。
③抗菌気化フィルターがトレイ内のカビ・雑菌の繁殖を抑えます。

6 バブルサインで運転状態をお知らせ

トレイ内のバブルユニットが、本体の運転状態をバブルサイン(小さな泡が短い間隔で発生)でお知らせします。
本体より離れた場所からでもバブルサインを見ることで、本体の運転状態を確認することができます。
※バブルユニットは、取り出した状態でも使用できます。

7 蒸気や霧は見えません

抗菌気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す加湿方式のため、スチームファン式や超音波式のように蒸気や霧は見えません。

加湿量について

室内の湿度や温度の条件により加湿量は変わります。
次のときには加湿量が少なくなります。
○雨の日など、湿度が高いとき
○室内の温度が低いとき

各部のなまえ

外観図

前面

点 タンク 7ページ 13ページ

操作・表示部 6ページ

タンクキャップ 7ページ

電源コード

点 電源プラグ 8ページ

点 抗菌気化フィルター（消耗部品） 8ページ 14ページ

点 抗菌・消臭シート（消耗部品） 14ページ

ヒータ部（上部） 1ページ

点 バブルユニット 4ページ 14ページ

フロート 14ページ

点 トレイ 14ページ

Hybrid HUMIDIFIER

背面

点 除菌フィルター 13ページ（消耗部品）

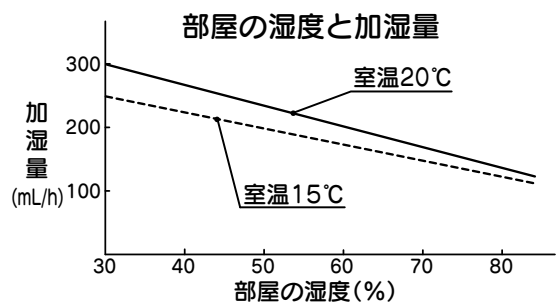
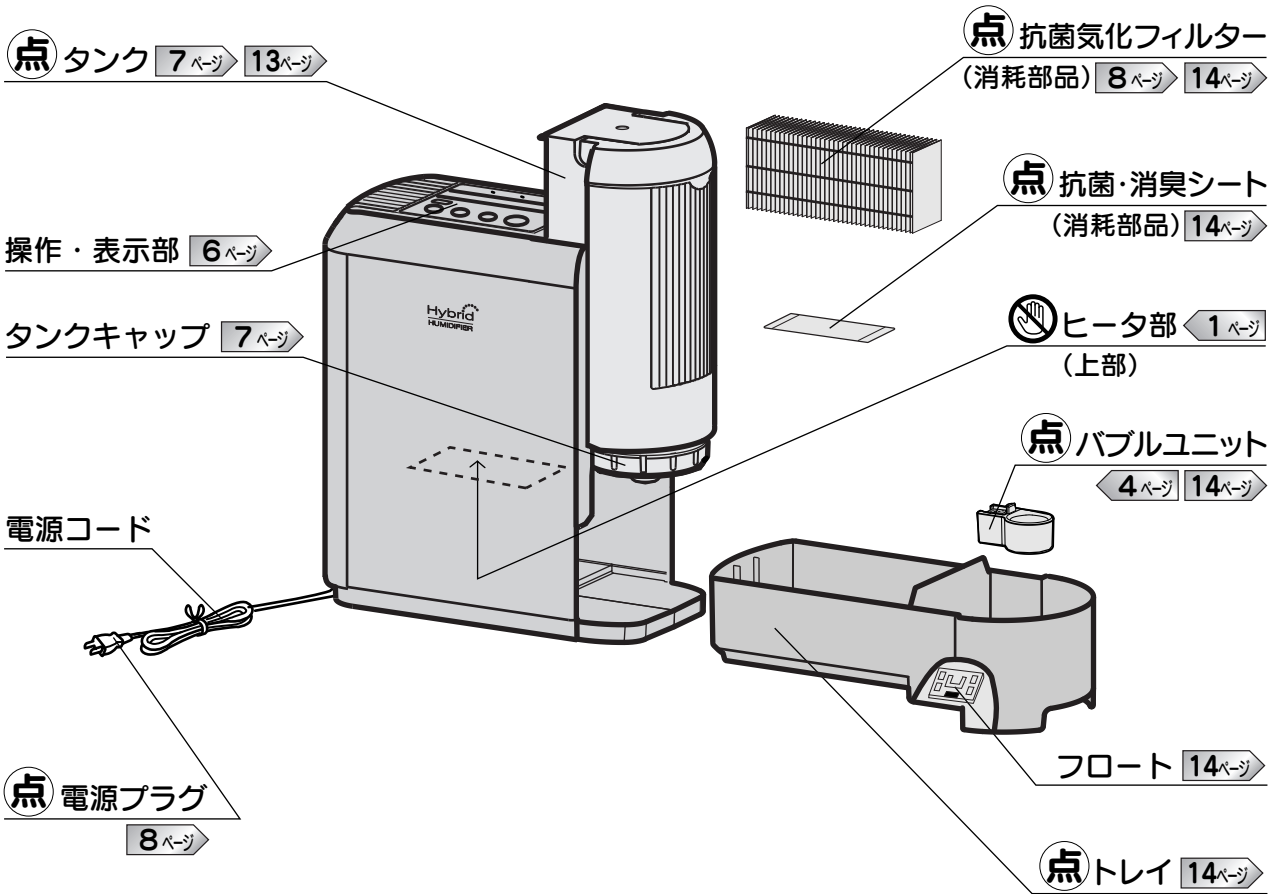
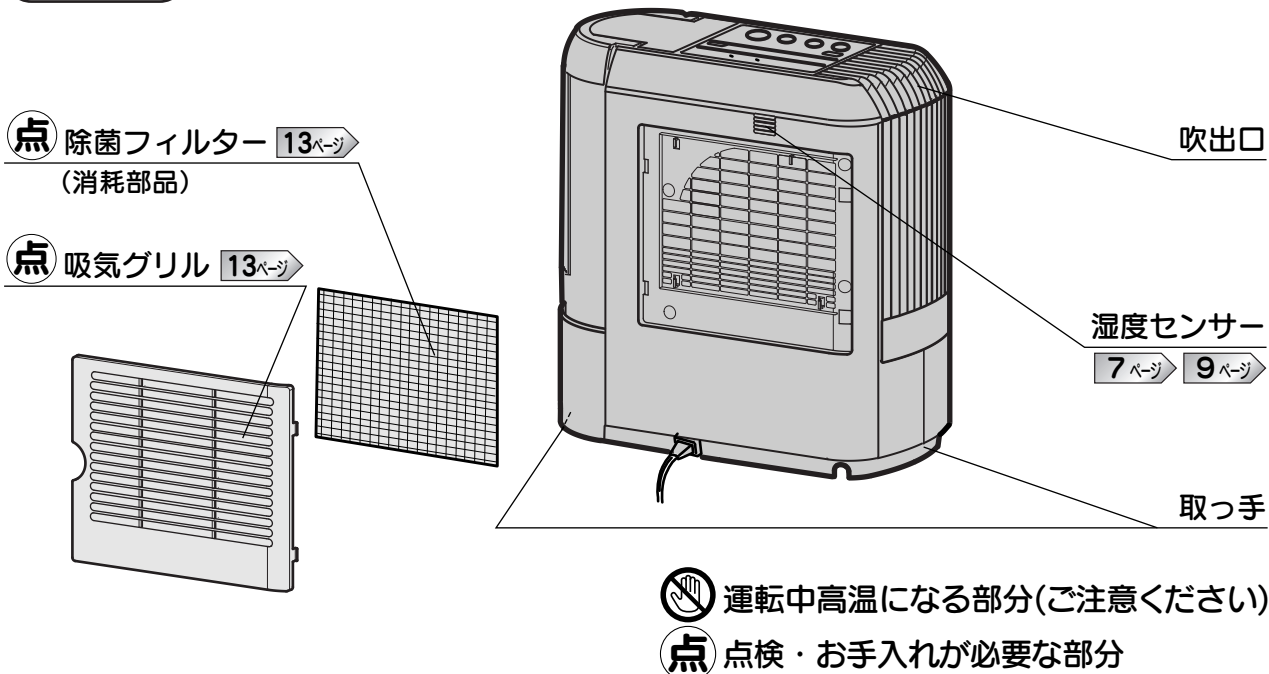
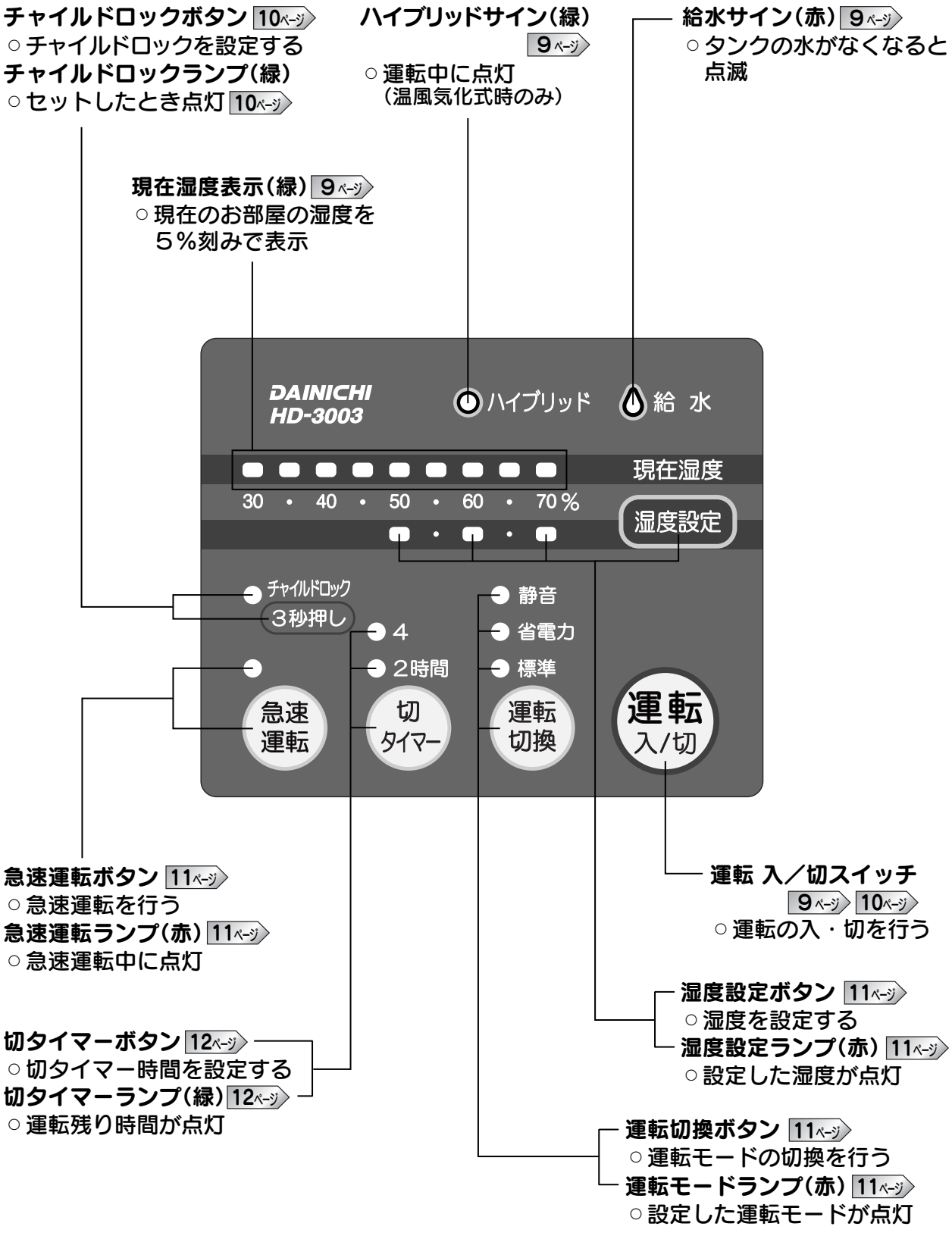
点 吸気グリル 13ページ

吹出口

湿度センサー 7ページ 9ページ

取っ手

運転中高温になる部分(ご注意ください)

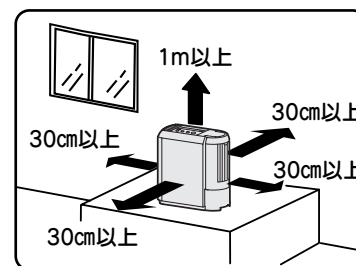
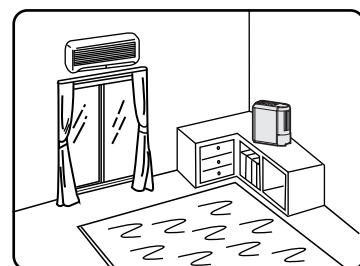
点 点検・お手入れが必要な部分

操作・表示部

使用する場所・使用前の準備

効果的に加湿するために

設置場所

○直射日光やエアコン・暖房機の温風があたらないところに設置してください。また、冷気の影響を受けやすい窓際から離して設置してください。設置状況の影響により正しい湿度を表示しないことがあります。

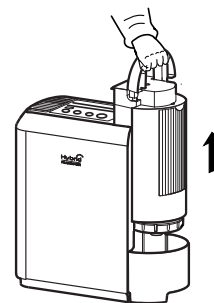
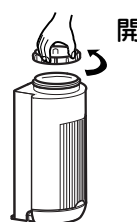
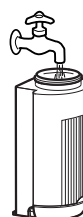
○水平で丈夫な場所に設置してください。
○図の範囲内に物を置かないでください。

○カーテンなどが背面の湿度センサー部をふさがないように設置してください。

使用条件（室温と湿度）

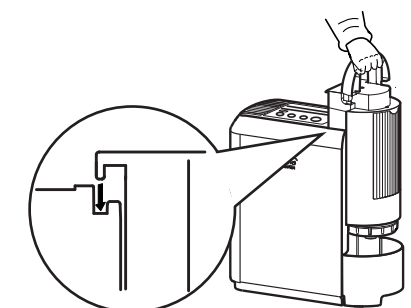
○室内温度は0～40℃、湿度は20～85%で使用してください。

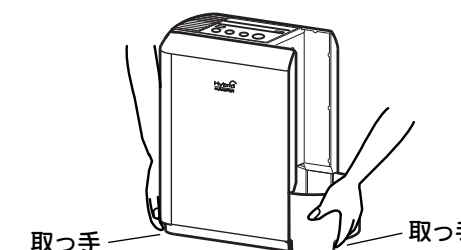
運転開始前の準備

タンクに給水する

1 タンク取っ手を持ち、タンクを取り出す

2 タンクキャップを外す
○外したタンクキャップにごみ・糸くず・ほこりなど付着しないように注意してください。

3 タンクを振り洗いしてから、水道水を口元までゆっくり給水する

4 タンクキャップを確実に閉める
○タンクについた水は完全にふき取ってください。
○タンクキャップを下にしたとき水漏れがないことを確認してください。

閉

5 タンクを本体にセットする
○トレイが確実に本体の奥まで入っていることを確認してください。
○タンクを本体にセットするとき、タンクのツメを本体の溝に入れてください。

移動するとき

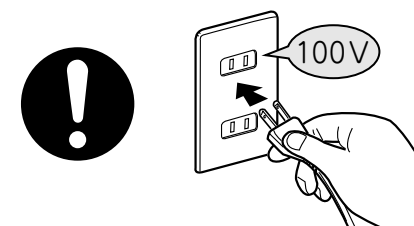
○必ずタンクを取り出し、両手で取っ手を持って、傾けないように静かに運んでください。
水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

メモ

○タンクをセットして、初めてご使用のときに抗菌気化フィルターの顔料（オレンジ）が色落ちすることがありますが、異常ではありません。また、顔料は無害で人体には影響ありません。気になる方は抗菌気化フィルターを水洗いしてください。

お守りください

○40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・汚れた水などは使用しないでください。変形や故障の原因になります。
○ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは入れないでください。カビや雑菌が繁殖しやすくなり故障の原因になります。

電源コードを接続する

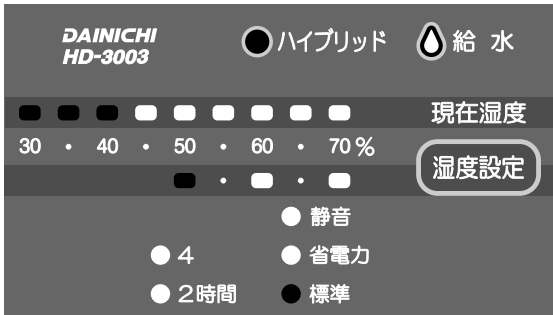
電源プラグをコンセント（100V）に差し込む。

お守りください

○家庭用電源以外では使用しないでください。動作異常や予想しない事故の原因になります。
○200V電源には絶対に差し込まないでください。火災、感電、故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。火災の原因になります。

運転開始のしかた

運転を開始するとき

運転 入/切スイッチを押す

運転停止中に

○運転を開始し、現在湿度を表示します。

<運転中の表示と動き>

加湿方式	ハイブリッドサイン	送風ファン
温風気化式	点灯	回転
気化式	消灯	回転

※設置状況などにより、現在湿度表示が設定湿度より高くなることがあります。十分な加湿が得られているときは、運転を停止してください。

※室内温度が低いときは、現在湿度が設定湿度よりも低いときでも、温風気化式で運転をしないときがあります。そのときは、ハイブリッドサインは点灯しません。

現在湿度表示について

湿度表示は目安としてお使いください。

○本体内部の湿度センサーで検知した湿度を表示します(表示湿度は、30〜70%)。

○運転を開始してから安定するまで約10分間かかります。また、急激な温度変化や設置状況などの影響により正しい湿度表示をしないことがあります。

○現在湿度表示と他の湿度計の表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により、必ずしも一致しないことがあります。

給水の合図

○運転中にタンクに水がなくなると給水サインの点滅と10回のブザー音でお知らせします。
5分後、自動的に運転を停止します。

○タンクに水を入れ本体にセットしてください。１〜２分後、給水サインが消灯し、３回ブザー音が鳴り自動的に運転を再開します。

メモ

○タンクを入れてからトレイや抗菌気化フィルターに水が行きわたるまでに約５分かかります。

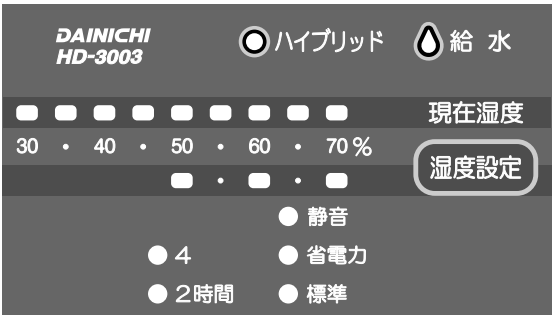
○タンクの水量が少なくなると、タンクからトレイに水が供給されるときの「ボコボコ」という音が大きくなりますが、異常ではありません。音が気になる方は、バブルユニットを取り出してお使いください。取り出して使用されても運転に影響はありません。

○初めてご使用のときは、ヒータ(ニクロム線)が発熱した際に、吹出口から防錆油の焼ける臭いがすることがありますが、人体には影響ありません。しばらくの間、お部屋の換気をしながらご使用ください。１時間ほどでおさまります。

運転停止のしかた・チャイルドロックのしかた

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押す

運転中に

○すべてのランプが消灯します。

○約50秒間送風後、停止します。

メモ

○本体が転倒したときは、「ピーピーピーピー」とブザー音が鳴り、運転を停止して、現在湿度表示が点滅します。このとき送風ファンは回りません。16ページ

お守りください

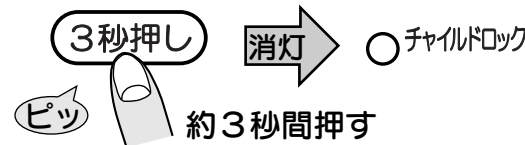
○運転を停止しても、運転停止後約50秒間は本体内を冷やすため送風ファンが回っていますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源プラグを抜いて運転を停止したり、運転停止後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと、故障の原因になります。

チャイルドロックを使用するとき

小さいお子さまのいたずら操作を防止したいときにお使いください。
運転中、運転停止中のどちらでもセット・解除できます。

チャイルドロックをセットする

○チャイルドロックランプが点灯します。
(チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります)

チャイルドロックを解除する

○チャイルドロックランプが消灯します。

メモ

○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、チャイルドロックが解除されます。再度、セットしてください。

運転切換のしかた・湿度設定のしかた

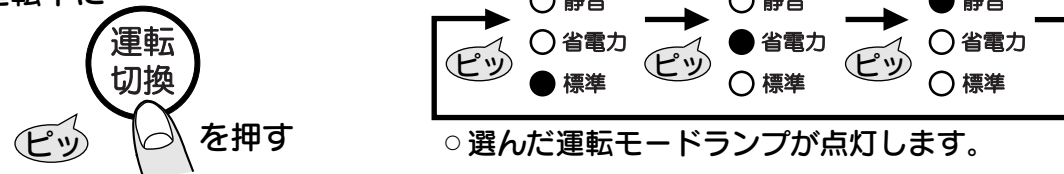
運転切換をするとき

お好みの運転モードに設定してください

標　　準：湿度設定に合わせて自動で加湿量を調整し、運転します。
省 電 力：消費電力を抑えながら自動で加湿量を調整し、運転します。
静　　音：風量を弱めて自動で加湿量を調整し、運転します。
（「省電力」と「静音」モードは、最大加湿量が少なくなり、お部屋の広さや条件によっては設定湿度に達するまでの時間が長くなることがあります）
急　　速：風量を強めてすばやく設定湿度まで運転します。

運転切換ボタンを押すごとに運転モードが切り換わります
運転中に

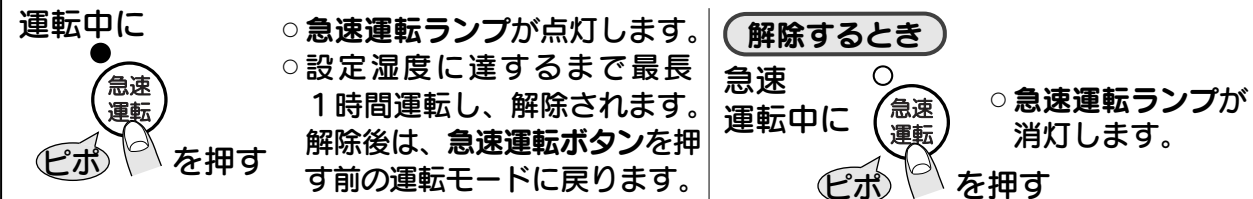
を押す

○選んだ運転モードランプが点灯します。

すばやく加湿したいとき

急速運転ボタンを押すと急速運転モードに切り換わります。
運転中に

を押す

○**急速運転ランプ**が点灯します。
○設定湿度に達するまで最長１時間運転し、解除されます。解除後は、**急速運転ボタン**を押す前の運転モードに戻ります。

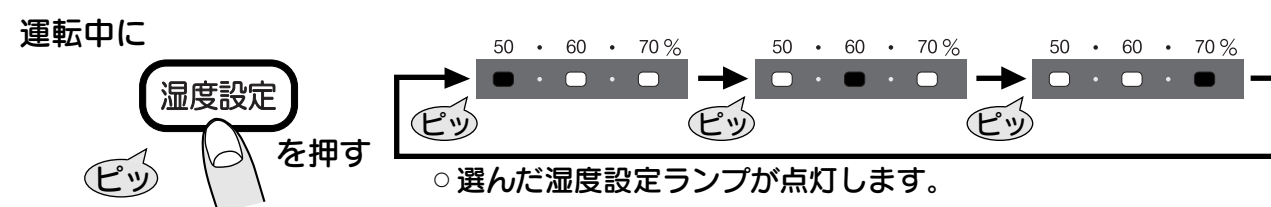
解除するとき
急速運転中に 急速運転 ピポ を押す
○**急速運転ランプ**が消灯します。

メモ
○初めてご使用のときや、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、「**標準**」運転モードになります。運転モードを変えたいときは再度、設定してください。
○「**急速運転**」モード中に運転を停止し、再度、運転を開始するときは、**急速運転ボタン**を押す前の運転モードになります。

湿度設定をするとき

お好みの湿度に設定してください

湿度設定ボタンを押すごとに設定湿度が切り換わります
運転中に

湿度設定 ピッ を押す

○選んだ湿度設定ランプが点灯します。

メモ
○初めてご使用のときは、湿度設定は「**50%**」に設定されています。
○設定湿度を選ぶ目安としては、就寝時や室内の結露が気になるときは「**50%**」、のどやお肌の乾燥が気になるときは「**60%**」または「**70%**」が目安になります。

切タイマー運転のしかた

切タイマー運転を使用するとき

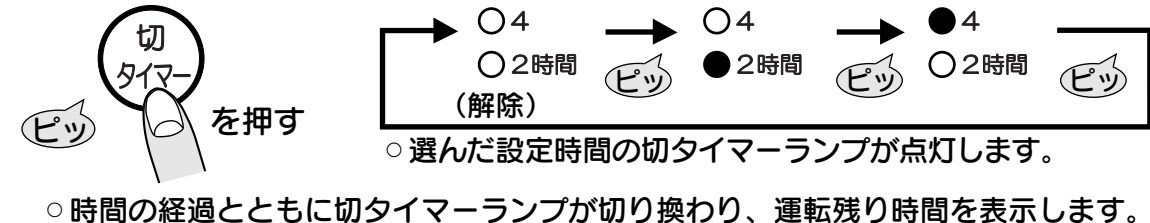
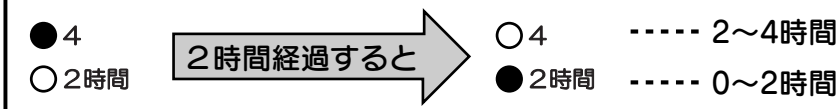
一定時間で運転を終わらせたいとき

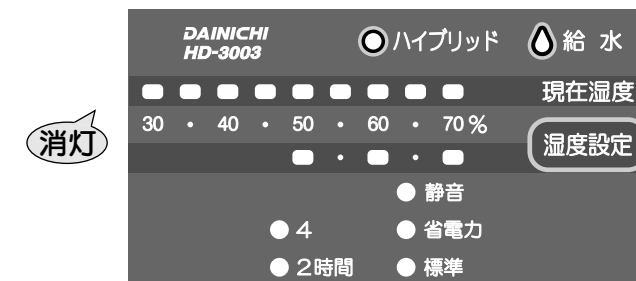
４時間、２時間の設定ができます。

1 **切タイマーボタン**を押すごとに設定時間が切り換わります
運転中に

を押す

○選んだ設定時間の切タイマーランプが点灯します。

○時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、運転残り時間を表示します。

（例）切タイマーを４時間に設定したとき

2 設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します

消灯

○すべてのランプが消灯します。
○約50秒間送風後、停止します。

メモ
○設定後に切タイマー時間を変えたいときは、もう１度 **1** を行なってください。新たに合わせた時間から切タイマーが作動します。
○切タイマー運転を設定するときは、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、給水サインが点滅して５分後に運転を停止します。

切タイマー運転を解除するとき

切タイマーボタンを切タイマーランプが消灯（解除）するまで押す
切タイマー運転中に

を押す

○4
○2時間

メモ
○切タイマー運転で停止したときは、**切タイマーボタン**を押しても運転は再開しません。再度、**運転 入/切スイッチ**を入れてください。

お手入れのしかた

お守りください

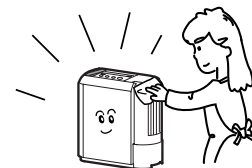
○点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、送風ファンが停止したことを確認後、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。また、分解はしないでください。感電・発火・故障の原因になります。

○お手入れせずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。定期的にお手入れを行なってください。

ご使用のたびに

本体のごみやほこりをふき取る

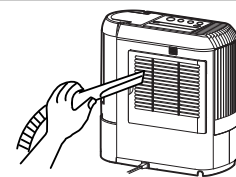
○柔らかい布でからぶきするか、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。

○変質や変色防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ洗剤・漂白剤などは、使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。

タンク内をきれいにする

○タンク内の水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。
タンク内の水を捨て、きれいな水を少し入れ、振り洗いしてください。

週に１回程度

吸気グリルのお手入れをする

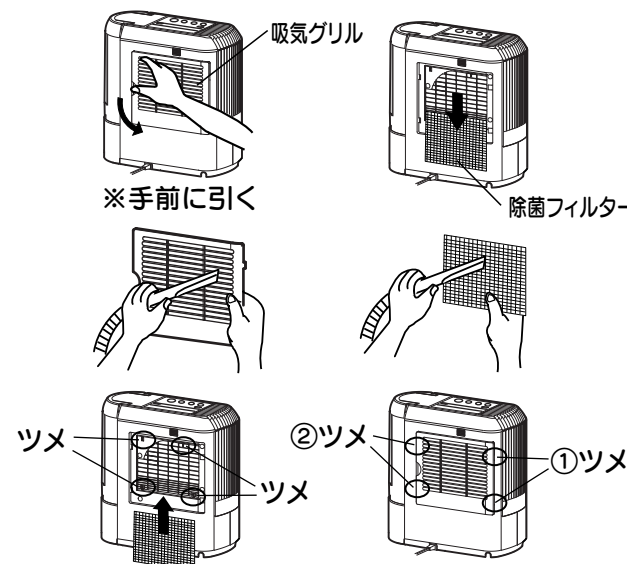
掃除機などで吸気グリルのほこりを取る。

吸気グリルの汚れがひどいとき

1. 吸気グリルを取り外し、除菌フィルターを取り外す

2. 吸気グリル、除菌フィルターは掃除機などでほこりを取る

3. 除菌フィルター、吸気グリルの順に取り付ける

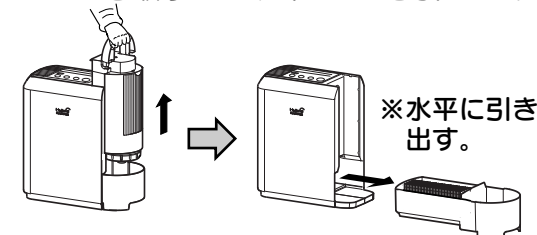
※除菌フィルターは本体のツメ(4箇所)に挟むように取り付ける。

※吸気グリルは①のツメ(2箇所)を本体の穴に差し込んでから②のツメ(2箇所)を差し込む。

お守りください

○吸気グリルの汚れがひどくなると雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので、こまめにお手入れしてください。

２週間に１回程度

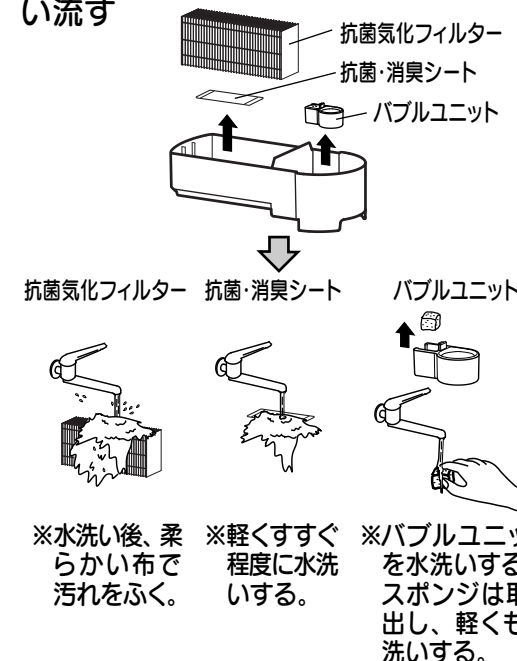
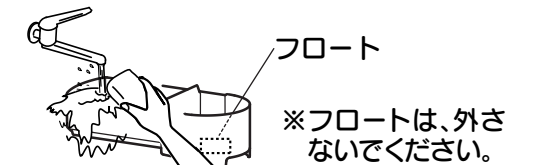
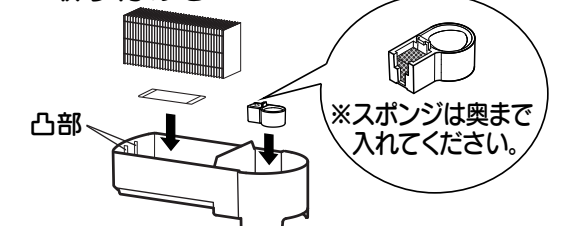
トレイとトレイ内部品のお手入れをする

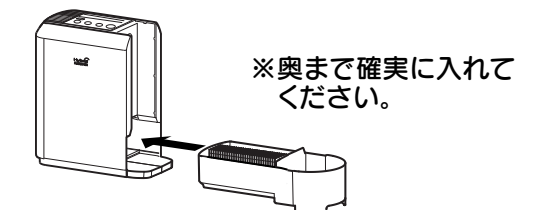
1 タンクを取り出し、トレイを引き出す

2 トレイから抗菌気化フィルター、抗菌・消臭シートおよびバブルユニットを取り出し、表面の水アカやほこりを洗い流す

抗菌気化フィルター　抗菌・消臭シート　バブルユニット

※水洗い後、柔らかい布で汚れをふく。

※軽くすすぐ程度に水洗いする。

※バブルユニットを水洗いする。スポンジは取り出し、軽くもみ洗いする。

3 トレイの水を捨て、トレイをスポンジなどで水洗いする

4 抗菌・消臭シート、抗菌気化フィルターおよびバブルユニットをトレイに取り付ける

※抗菌気化フィルターは、トレイの凸部にそって入れてください。

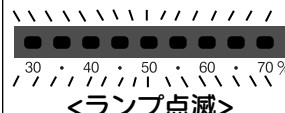
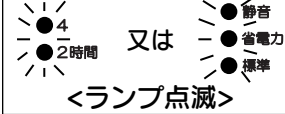
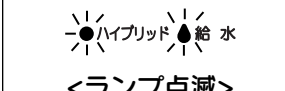
5 トレイを本体にセットする

6 タンクを本体にセットする

メモ

○抗菌気化フィルターの水アカが取れにくいときは、クエン酸を使い、必ず別の容器で次の手順に従って洗浄してください(クエン酸は薬局・薬店でお買い求めください)。
①ぬるま湯(40℃以下)1.5Ｌに約10ｇを溶かす。濃度が高いと部品破損の原因になります。
②抗菌気化フィルターを約30分浸ける(洗浄中は機器を使用しないでください)。
③新しい水でしっかりすすぎ洗いする。クエン酸の成分が残ると、臭いの発生や故障の原因になります。
※クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かないところで保管してください。
※クエン酸で抗菌・消臭シートを洗浄しないでください。有効成分が溶け出す原因になります。

お守りください

○抗菌気化フィルターやトレイに水アカが付着します。水アカは水道水に含まれるミネラル分が気化せずに残ったものです。お手入れせずに使用を続けると固まって取れにくくなり、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので２週間に１回は必ずお手入れしてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前に１度ご確認ください。

症状	原因	処置方法
給水サインが点滅している	タンクの水がなくなった。	タンクに給水してください。 7ページ
タンクに水が入っているのに給水サインが点滅する	本体が傾いている。	本体を水平な場所に設置してください。
	トレイが確実に本体に入っていない。	トレイを確実に本体の奥まで入れてください。
	フロートが引っ掛かっている。	フロート周辺のごみを取り除いてください。 14ページ
	バブルユニットに水アカやごみが付着している。	バブルユニットのお手入れをしてください。 14ページ
蒸気が見えない	本製品は抗菌気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す方式のため、蒸気や霧は見えません。	異常ではありません。 4ページ
運転しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。 10ページ
	給水サインが点滅している。	タンクに給水してください。 7ページ
現在湿度が設定湿度より高くなる	設置状況によっては現在湿度が設定湿度より高くなることがあります。	設置場所をご確認ください。 7ページ
		十分な加湿が得られているときは、運転を停止してください。
加湿器の現在湿度表示と他の湿度計の表示が一致しない	現在湿度表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により異なります。	設置場所をご確認ください。 7ページ
		現在湿度表示は、目安としてお使いください。 9ページ
風は出ているのに、タンクの水が減らないまたは風の出が少ない	吸気グリルにほこりが付着している。	吸気グリルのお手入れをしてください。 13ページ
	抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。 14ページ
風が冷たい	水が気化するとき熱が奪われるので、風は暖かくありません。	異常ではありません。 4ページ
ハイブリッドサインが点灯しない	設定湿度に達している。	異常ではありません。 9ページ
	室内温度が低い。	
	「省電力」運転モードになっている。	
湿度が上がらない	部屋が広すぎる。	適用床面積の範囲でお使いください。 18ページ
	「省電力」、「静音」運転モードになっている。	「標準」または「急速」運転モードでお使いください。 11ページ
	窓や戸が開いている。	窓や戸を閉めてお使いください。
音がする	「ボコボコ」という音は、タンクからトレイに水が供給されるとき、タンクの中に空気が入る音です。	異常ではありません。 音が気になる方は、バブルユニットを取り出してお使いください。 4ページ 9ページ
	「ブーン」という音は、送風ファンが動いている音です。	異常ではありません。但し、いつもより音が大きく感じたときは、吸気グリル、抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。 13ページ 14ページ
臭いが出る	吸気グリル、トレイ、トレイ内部品が汚れている。	吸気グリル、トレイ、トレイ内部品のお手入れをしてください。 13ページ 14ページ
トレイ内の水がオレンジ色になっている	抗菌気化フィルターの顔料が、色落ちしたものです。 (初めて使用したときだけです)	異常ではありません。また、人体には影響ありません。気になる方は、抗菌気化フィルターを水洗いしてください。 8ページ
バブルサイン(空気の泡)が大きくなる	タンクの水量によって変わります。	異常ではありません。
	バブルユニットのスポンジが奥まで入っていない。	スポンジを奥まで入れてください。 14ページ

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行なってください

表示部(エラー表示)	原因	処置方法
30・40・50・60・70％ <ランプ点滅>	本体を傾けたり、転倒したため自動停止した。 **(転倒自動停止装置が作動)**	水平な場所に設置し、こぼれた水をふき、本体が乾いてから**運転入/切スイッチ**を押し直してください。 7ページ 10ページ
4 2時間 又は 静音 省電力 標準 <ランプ点滅>	室温異常(０℃以下または40℃以上)になったため自動停止した。 **(室温異常自動停止装置が作動)**	設置方法を確かめ、**運転入/切スイッチ**を押し直してください。 7ページ
ハイブリッド 給水 <ランプ点滅>	修理・点検が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 17ページ

処置を行なっても直らないとき、上記以外のエラー表示がでたとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

消耗品の交換について

交換の目安

- 抗菌気化フィルターは、１シーズン(約６カ月)を目安に新しい抗菌気化フィルター(別売品)と交換してください。
  また、６カ月以内でも汚れや水アカが落ちなくなったときは、交換してください。
  交換せずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。
- 除菌フィルター、抗菌･消臭シートは、汚れや水アカが落ちなくなったら交換をおすすめします。
  交換せずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。 13ページ 14ページ

保管と廃棄のしかた

保管するとき（長期間使用しないとき）

1. お手入れのあと、よく水をふき取り、乾かす
2. お買い上げ時の包装箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところに保管する

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従って廃棄してください。

消耗部品の材質
- 抗菌気化フィルター･･･プラスチック(PE)
- 除菌フィルター･･･プラスチック(PP)
- 抗菌･消臭シート･･･紙

保証とアフターサービス

保証について

●**保証書(裏表紙に付いています)** 裏表紙

販売店で必要事項を記入してお渡ししますので、記入内容をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

●**保証期間**

保証期間は、お買い上げ日から本体３年間です。なお、消耗部品(抗菌気化フィルター、除菌フィルター、抗菌･消臭シート)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本加湿器の補修用性能部品は、製造打切り後６年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。15ページ 16ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。そのときは、次の事項をご連絡ください。

品　　名：ダイニチ加湿器
型　　名：HD−3003
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

●**保証期間中**

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

●**保証期間が過ぎているとき**

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

●**修理料金**

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

ご不明な点に関するご相談

アフターサービスご相談窓口
（通話料無料）
TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220

＜受付時間＞
11月～ 1月 9:00～19:00 土は～17:00まで、日･祝日･年末年始は休み
2月～10月 9:00～12:00、13:00～17:00（土･日･祝日は休み）

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1.ダイニチ工業株式会社(以下｢弊社｣)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき､これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2.次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①修理やその確認業務を委託する場合
　②法令の定める規定に基づく場合
3.個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げ販売店などに点検依頼をおすすめします(有料)。

愛情点検　長年ご使用の加湿器の点検を！

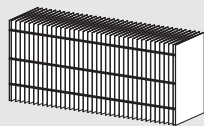
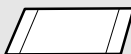
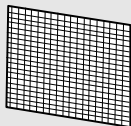
こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	・水漏れする。 ・本体が異常に熱い。 ・電源コードに触れると通電したり、しなかったりする。 ・運転中に異常な音がする。 ・その他の異常や故障がある。	▶	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

仕　様

型名	HD−3003			
電源電圧及び周波数	AC100 V　50/60 Hz			
加湿運転	標準	省電力	静音	急速
消費電力（最大）	161/161 W	11/11 W	158/158 W	167/165 W
加湿量（最大）※1	300 mL/h	160 mL/h	250 mL/h	350 mL/h
運転音 最大	25 dB	25 dB	18 dB	30 dB
運転音 最小※2	15 dB	15 dB	15 dB	－
タンク容量	2.5 L			
適用床面積 木造和室	8 m^2(5畳)			
適用床面積 プレハブ洋室	14 m^2(8畳)			
外形寸法（高さ×幅×奥行）	325 mm×322 mm×160 mm			
質量	約3.2 kg			
電源コードの長さ	1.8 m			
安全装置	転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置			

※1 加湿量は室温20℃・湿度30%の条件のときです。
※2 最小運転音は50%設定時のときです。

部品のご注文について

消耗部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
その際は、型名・部品名・商品コードをはっきりとお伝えください。

抗菌気化フィルター
1,680円
（本体価格 1,600円）
商品コード:H060501

抗菌・消臭シート
577円
（本体価格 550円）
商品コード:H090010

除菌フィルター
472円
（本体価格 450円）
商品コード:H060307

加湿器保証書

型名	HD-3003	製造番号	
お客様	お名前 様 ご住所 〒 電話番号 （ ） ー		
お買い上げ日	販売店住所・店名		
年 月 日			
保証期間(お買い上げ日から)			
本体3年間			

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様へお願い
お手数ですが、お名前、ご住所、電話番号をわかりやすくご記入ください。

ご販売店様へ
お買い上げ日、製造番号、貴店名、住所、電話番号を必ず記入し、（記入のないときは無効になります）本書をお客様へお渡しください。

修理メモ

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
3. ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社へご相談ください。
5. 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
   （ロ）お買い上げ後の持ち運びの際の落下などによる故障や損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）、ほこりなどによる故障や損傷
   （ニ）消耗部品（抗菌気化フィルター、除菌フィルター、抗菌・消臭シート）の取り替え
   （ホ）定期点検の費用
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用されたときの故障や損傷
   （ト）本書の提示がないとき
   （チ）本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書（17ページ）をご覧ください。

ダイニチ工業株式会社
新潟市南区北田中780-6
TEL 025-362-1101(代)
アフターサービスご相談窓口 ☎0120-468-110

営業所	郵便番号	住所	電話
東京営業所	〒101-0021	千代田区外神田2-13-7 ダイニチ神田ビル	☎03(3258)3841㈹
大阪営業所	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2-6-6	☎06(6330)1431㈹
仙台営業所	〒984-0015	仙台市若林区卸町3-1-15	☎022(235)8621㈹
新潟営業所	〒950-1295	新潟市南区北田中780-6	☎025(362)1140㈹
高崎営業所	〒370-0043	群馬県高崎市高関町345	☎027(328)0501㈹
宇都宮営業所	〒320-0838	宇都宮市吉野2-1-12	☎028(636)9411㈹
名古屋営業所	〒461-0040	名古屋市東区矢田1-3-33 第一生命ビル	☎052(721)6677㈹
広島営業所	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-4-25	☎082(875)8851㈹
福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-4-11 シティコート中陽	☎092(474)0731㈹

〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
ホームページ http://www.dainichi-net.co.jp/

HD−3003・07・04・0,000・1